

はぁと・ほっと☆弥生

弥生が丘コミセン

669-1546

三田市弥生が丘2丁目21

☎・Fax 079-562-0434

弥生が丘自治会広報委員会

第6号 平成25年11月30日発行

『誰だって、助けてもらう時がある、できる今、助けあえる喜びを』

=自分の命は自分で守る= 防災訓練に450名

「自分の命は、自分で守る—自助力向上」を合い言葉に11月16日、弥生が丘地区の全丁内で防災訓練が行われた。



【一時避難所から小学校へ移動】

午前9時、大地震が発生したとの想定で、各丁内の一時避難場所に集まり、コミセンの災害対策本部に状況を報告後、弥生小に集合するというもの。これまでと違って、参加者が自主的に役割分担を決める方式に、最初は戸惑いがちだった人たちも徐々に慣れ、防災倉庫からリヤカーを出して担架代わりにし、負傷者を運んだり、足の不自由な人を車いすに乗せるなど、真剣な表情で取り組んだ。

訓練参加者は約450人。弥生小体育館に集まった人たちを前に、北浦弘也・自治会防災防犯部長が「いざという時は、住民同士が助け合いましょう」と訴えた。弥生小も臨時の登校日にし協力。授業の後、学校に集まった父母たちに児童と親の名前を確認しながら引き渡した



【防災倉庫前で安否確認】

第2回 健康フェスタ開催 (地域活性化部会・スポーツ21共催)

11月23日(土)弥生小学校で多くの参加者(子ども120名、大人60名)のもと開催。

体育館では、各種体力測定、血圧測定等の健康チェックが実施されました。

グラウンドでは弥生会(老人会)のメンバーさんの指導により、子どもからお年寄りまで多世代でグラウンドゴルフを楽しみました。



【体重測定】



【グラウンドゴルフ】

弥生が丘自治会公式ホームページもご覧下さい

アドレス <http://heart-hot-yayoi.sakura.ne.jp/> 又は

弥生が丘自治会

検索

「敬老の日を祝う集い」開催

(平成25年9月28日・土 於三田ホテル)

75歳以上の方、約140名のご出席で華やかに開催されました。かわいい、やよい幼稚園児のオープニングの歌で始まりました。

副市長はじめ、やよい幼稚園長・弥生小校長・富士中校長の来賓の紹介、寿賀ご出席の方々の紹介、弥生小6年生の児童による「お祝いの作文の朗読」で第1部の式典を終わり昼食を囲んでいただきました。

第2部は、蓮風RENUによる「和太鼓・津軽三味線」のすばらしい演奏に耳を傾けていただき、皆で合唱し、楽しい有意義な1日をお過ごしいただきました。

ご出席いただいた方からは、「個人ではなかなかこのようなホテルを利用できないが、今回参加して、非常に良かった」との感想もいただいています。



クリスマス会のご案内

◆12月23日(月・祝) 9:30~12:30 於コミセン

◆イベント内容

- ・映画鑑賞会「ホームアローン」
 - ・おとうふの一口ドーナツ作り
 - ・クリスマスソング斉唱&リース作り
- *参加申し込み受付中!!

サンタさんからの
プレゼントもあるよ



愛称がつきました (5丁目班長会で命名)

5丁目広場 = **グリーン広場**

5丁目遊歩道 = **グリーン通り**



サークル紹介のページ

コミセンを中心に活動されているサークルを順次紹介しています

第2回紹介 **ダンケダンス**



「ダンケダンス」は弥生が丘にお住まいのインストラクター葛西さんが長年のジャズダンスの経験を生かして作られたサークルです。最初はストレッチなどの準備体操、これだけでも汗ばむ運動になります。

休憩を取ったあと、振り付けを入れたダンスを踊る。「音楽にあわせて踊ると、とても楽しい」「先生が優しい方なので何度でも教えてくださいと嬉しい」と参加者。一度見学してみませんか？

■活動日：毎月第3月曜日 10時から12時

■連絡先：葛西美和子 090-9555-7493

■体験・受講料：1回500円（見学無料）

弥生小校区住民座談会活動経過報告

弥生校区の総合目標“安心して暮らせる弥生が丘”の実現のため、『弥生小校区福祉計画策定小委員会』を立ち上げ、6月より毎月打ち合わせを行っています。8月までは【互助・共助の推進】9月からは【交流活動の促進】をテーマに具体的な対応策について協議をしています。

【交流活動の促進】の協議内容です

- ①現在弥生小で実施している「ランチサロン」の水平展開として、コミセンの“ふれあいの集い”に「食事会」の導入を計画します。
- ②“顔見知りの輪づくり”“子どもを含めた近所づきあい”をキーワードに、クリーンデーを活用して、児童や若い世代の参加を増強して行きます
- ③地域での「あいさつ運動」として家族以外の人に一日5人以上にあいさつをし交流を図る。
- ④交流拠点の広がりを目指し、地域住民が弥生小空き教室を活用できる仕組みを考えます。

まちづくり研修会開催＝「まちづくり」へ積極参加を＝

三田市の第4次三田市総合計画に基づく「まちづくり研修会」が、10月6日、フラワータウン市民センターで行われ、弥生が丘、武庫が丘、狭間が丘、富士が丘の4地区住民と、市の関係部局を合わせ約80人が参加しました。

市企画財政部の仲井浩一課長らがスライドを使って総合計画とまちづくり基本条例の概略を説明、「行政のみの計画ではなく、市民と市が協働して、まちづくりの方向性を確実なものにしていきたい」と訴えました。

この後、近畿大学の久隆浩・総合社会学部教授が「みんなの想いを地域の力で」と題して講演。久教授はインターネットの普及で、いろいろな人が自発的につながっていくネットワーク型社会が形成されている現状を指摘。「一人の力は小さいが、つながることで大きな力になる。つながりは『呼び掛け』から生まれる。小学校単位で月に1回程度の井戸端会議を開いたらどうか。出入り自由、合意形成を目的にしないなら、気軽に参加できる」と提案されました。

当日の世話役の一人、福井裕・弥生が丘自治会長も研修会への積極参加を呼び掛けていました。

「さんだりサイクルコミュニティ賞」受賞！

11月30日（土）開催された「3Rを知ろう！広めよう！取り組もう！市民の集い」で弥生が丘自治会が「さんだりサイクルコミュニティ賞」を受賞しました。（副賞10万円相当の環境関連商品）

この賞は、三田市内で活動している、約80の「資源ごみ回収団体」の中で『24年度の一世代当り資源ごみ回収量』が一番多い団体に授与されるものです。ちなみに弥生が丘の24年度の一世代当りの回収量は、159.5kg（271,010kg/1,699世帯）でした。

この事は、日頃より住民の皆様が、ごみ問題に関し深いご理解とご協力をいただいている結果の表れにほかなりません。

今後共、限りある資源の有効活用を心がけ、循環型社会の形成に向けて共に歩んで行きましょう。生活環境専門部



＝資源ごみ・エコキャップ回収報告＝

【資源ごみ回収量】

平成25年度（単位：kg）		昨年（24年度）
11月度回収量	20,210	19,390
4～11月累計	166,220	178,880

*リサイクル可能な古紙類やアルミ缶等は、必ず資源ごみ回収日（リサイクルデー）にお出し下さい

【エコキャップ回収量】

25年度累計（4～11月）		
重量（kg）	個数（個）	ワクチン（人分）
163.7	65,480	81.9

*11月度で、すでに昨年1年間の回収（147.8kg）を大きく上回りました

富士中学生徒会より、弥生が丘自治会あての礼状（メッセージ）が届きました

弥生が丘自治会様

先日の弥生ふるさとまつりの時、富士中学生徒会のアルミ缶回収活動に協力していただきありがとうございました。屋台の準備や運営は知らないことばかりでしたが、わかりやすく説明してもらえたので私たちもしっかり動くことができました。お客さん側としても楽しむことができました。とても貴重な体験をさせていただきました。これからの学校行事などで生かしていこうと思います。また、このような機会があればぜひ呼んでください。

これからも中学校の活動にご協力よろしくおねがいします。富士中学校生徒会 森 子夏



弥生ふるさとまつりから出たアルミ缶を運ぶ生徒会代表の皆さん。
全部で**12kg**ありました。
ネパール国の井戸掘りの資金として活用されます。

編集後記 「シュライン通り」のいわれ

3丁目児童公園から弥生小とやよい幼稚園の間を通り深田公園へ通じるシュライン通り。皆さんが日常、買い物や通勤・通学、犬の散歩等に利用されている歩道です。今年の紅葉は特に鮮やかでした。

ある日、地域の方から「シュライン通り」の名前の由来をたずねられました。いろいろ調べてみますと、昔は行者さんが修行に行くのに通った道だったそうです。修業をするお堂や道端に石仏もあったとか??シュライン通りを利用される時は、昔のロマンを感じて歩いてみるのもいいかとも思います。（T・N記）

